

地域にはばたく市民パワー！



ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2020年6月号臨時号(第138号)

発行責任者 佐藤 重松



多門院のぼたん 大木 美和子/撮影



我家の芍薬 西郡 貢/撮影

広報紙「広場」休刊に関して

広報部長 玉上 佳彦



4月7日に緊急事態宣言が発令され、市内の公民館、生涯学習推進センターなどの部屋の利用ができなくなりました。そのため、編集会議の招集ができず、5月8日発行予定の広場5月号は、残念ながら、休刊とさせていただきます。これまでの13年間で初めての休刊となりますが、緊急事態であることをご理解いただきたいと思います。

ところざわ倶楽部では、情報発信ツールとして、HPがありますので、できる限りHPをフル回転させて、皆様への情報提供に心がけております。

今回は、全4頁の広場6月臨時号を発行して、現時点の各サークルの状況などを報告いたします。臨時号の掲載内容は以下のとおりです。

2頁：4月8日から「懐かしの映画・鑑賞会」の二上代表が発案された「LINEメール掲示板」の概要と活動状況について掲載しています。

3頁：3～5月の各サークルの現況をまとめてあります。

4頁：最近のコロナウイルス関連情報、所沢市の状況について掲載します。

“離れて、繋がれ!!” —メールで同じ時間を共有—

懐かしの映画・鑑賞会 二上 拓夫

『サークル会員の皆さん！ パソコンを使った
LINE メール掲示板』を活用致しましょう !!

4月7日政府から7都府県に「緊急事態宣言」
発出されました。翌日（8日）に会員の皆さんへ
「昨夜の宣言から、集まりや会合が出来なくなっ

た今、一斉メールを利用し、皆さんと双方向メー
ルで交流しましょう。これを「LINE メール掲示
板」と称して、各々のパソコンで「掲示板に集い
ましょう！」と呼びかけました。

○初回のテーマ 「医療従事者等へ感謝」、「貴方は今何をしている?！」

会員の皆さん、自宅にて自粛の最中
医療関係・スーパー等の従業者に

8日より会員一斉メールにて開始



○夜会 第一弾 4月27日(木) 午後8:00~

双方向で行っているメールを 有る時間全員で共有・・・「LINE メール掲示板」



夜会に用意した飲み物・つまみ、川柳、俳句、自慢のペット、ご近所の買い物情報等の紹介

○夜会 第二弾 5月7日(木) 午後7:30~ GW明け・緊急事態の延長か?!

見えてきた事 …… 「キョリ」 / 三密

「えいせい」 / マスク・手洗い

「価値観」 / テレワーク・働き方



満月の夜会／余話の月

○夜会 第三弾 5月21日(木) 午後7:30~ 「我慢から明日への展望」

「新しき生活様式とは」～貴方が考える、見える様式とは～

— ニューノーマル(新たな日常)・・・ウイルスと共に生きる —

サークル活動現況	いま サークルは？
1. 葵の会 (水上 俊彦 080-6855-5868) 3月6日(金)及川先生講義「古事記」(第3回目)、及び例会を最後に4月、5月中止に追い込まれました。また、3月26日計画の文学散歩とお花見、3月29日狂言鑑賞も取りやめました。6月12日(金)及川先生講義(古事記・最終回)が実施予定。出来ることを期待しています。(水上)	8. 所沢の自然と農業 (稲村 洋二 2992-1751) サークルの定期的な活動のうち定例会(毎月1回)、柳瀬荘黄林閣のボランティア(月2回)、トトロ21号地の保全活動を3、4、5月は休止しました。 その他市民大学ファームの活動(週2回)、山田ファームの活動(週2回)は人数を絞って活動しています。(稲村)
2. アジア研究会 (玉上 佳彦 090-2497-1076) 3月から定例会を休止しています。5月6日より「アジ研メール掲示板」で、メールによる会員相互のコミュニケーションをとるようにしています。 最近では、ZOOMによるオンライン会議、オンライン飲み会を行っています。結構楽しい飲み会で、先日は10名以上の参加で盛り上がりました。(玉上)	9. 野老澤の歴史をたのしむ会 (大館 徹 2924-3010) 3月以降、月2回の行事の計画はすべてキャンセルとしてきました。サークルの連絡方法は代表からのパソコンメールとFAX通信によっています。個々の会員との連絡は取っていませんが各月の行事についてはそれぞれの行事当番が代表と相談して決めて参りました。幹事会等も延期続きです。今は国からの指示通り「三密」を守っている状態です。6月の行事については目下検討中です。(戸田)
3. 活いきシニア福祉の会 (川上 紀春 090-5573-2548) 医療や介護現場で頑張っている皆様に感謝申し上げます。現在サークル活動は停止中ですが、メールで近況報告をお願いしたところ、マンション階段の往復、ウォーキング、家庭菜園やTV番組推奨のスクワット等で体力づくりに励んでいるとの報告がありました。(川上)	10. ドラマティック・カンパニー (高橋 信行 090-9393-6238) 2月22日の定例会の後、ドラカン時間の針はパッタリと止まったままです。時々、笠松先生から近況を知らせて下さるメールが届きます。次回予定の6/6、又皆でリチャード三世の朗読ができることを願っています。(大木)
4. 楽悠クラブ (田村 健一郎 事前連絡は不要です) 楽悠クラブ、楽悠コーラス共に3月定例会からすべて休会です。会としての活動は休止していますが、Fさんから音楽関連データの提供のお申し出もあり、それぞれ自宅で音楽鑑賞。オペラはやはり大画面、大音量で鑑賞したいものです。 6月9日の例会は歌劇「ニュルンベルグのマイスタージンガー」を鑑賞する予定です。(岩瀬)	11. 懐かしの映画・鑑賞会 (二上 拓夫 080-1250-6151) 二上代表の提案で、「離れて繋がれ!!」・・・『皆さん! パソコンを使ったLINEメール』を致しましょう!!。キャッチフレーズのもと4月27日(月)第一弾大成功!! 5月7日(木)第二弾夜会大きく盛り上がり、21日(木)夜会第三弾、28日第四弾を予定しています。会員同士の繋がりが、『密』になりました。(内川)
5. 食を通して所沢を知る会 (木下 みえこ 090-7272-6752) 先月(4月24日)から、《食トコメール掲示板》が始まりました。趣味や関心のある話題等何でも自由なキャッチボールです。手芸が上手な大水さんから、大きく素敵なマスクが郵送されてきました。自粛生活の中で皆さんに励まされます。(木下)	12. 脳活サークル (加曾利 厚雄 2939-2308) 3月4月5月は活動を中止しています。 6月22日(月)13時30分から「こどもと福祉の未来館」にて「総会」と「埼玉県の3偉人の話」を実施します。(加曾利)
6. 地球環境に学ぶ (中島 峯生 2928-1161) 自粛要請の下、3月、4月、5月度定例会は中止にした。自宅学習として、次回定例会討論課題「レジ袋の適正価格」の情報収集と環境情報の収集紹介を適宜して貰っている。(中島)	13. 傍聴席 (石堂 智士 2947-0835) コロナ感染症予防のため、3月定例会を延期しました 緊急事態宣言により、貸室休止のため、4月定例会を延期。宣言の継続で、5月定例会を6月へ延期。(石堂)
7. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 (田口 元也 090-9820-5668) チアダンスSPは、“Waになっておどろろ”の曲にあわせて振りの猛練習をしています。多くのチア仲間の呼びかけで、医療従事者や、ライフラインを支えてくれている人たちに“チアダンス”で励ましのエールを送ろうというもので、インスタグラムで動画配信の予定。(田口)	14. 民話の会 (仲山 富夫 090-3902-0283) 三ヶ月間、定例会を中止した。会員へは、理事会報告と共に所沢市内の感染者数をお知らせし「共に、自分を守り家族を守るために、三密を避ける行動をしましょう」との連絡をしています。(仲山)
理事会報告 第13期第6回理事会を5月11日(月)開催 ・時局講演会は中止(再開予定なし)・文芸講座は延期、時期は未定・倶楽部まつりは6月の理事会で決定。 ・広場5月号は休刊、6月号は臨時号(4頁)は発刊、7月号以降は通常版の予定	・食トコからの提案のフードバンク支援協力を決定。協力依頼文書を会長名で発行。具体策は①倶楽部から1万円寄付②会員に一口千円を募集③マンスリーサポーター(500円/月)を呼びかける。 ・次回6月8日10時～松井公民館2,3号会議室

所沢市内のコロナウイルス関連情報

所沢市内在住の感染者数は145名(5月25日現在)感染者の多くは、所沢明生病院、所沢ロイヤル病院での院内感染が発生したためとのことです。埼玉県内感染者は、1,000名(5月27日現在)

所沢市長の藤本正人のメッセージ(5月23日)

緊急事態宣言に伴う所沢市の取り組みについて

- ・特別定額給付金の郵送分を5月22日に発送を完了しました。
- ・市民医療センターでの発熱外来では、精密な検査を行ったうえで、保健所の指示により、必要な方にPCR検査を行っています。
- ・所沢市医師会によるPCR検査センターを6月初旬に開設します。
- ・なお、5月20日時点での市内の感染者は、入院されている人が18名、ホテル療養をしている人は4名です。
- ・私たち一人ひとりが気を緩めず、人に対して大らかに、支え合いながらこの困難を乗り越えてまいりましょう。



フードバンクの状況についての報告

NPO 法人フードバンクネット西埼玉代表 黒田 和代
(食を通して所沢を知る会員)

4月の中旬くらいから、フードバンクへの食料依頼が急増し、提供量は普段の2倍となっています。相談窓口への提供のほか、宅配便で個人宅へ食料を提供しており、その際「食料提供依頼書」という書式で申し込みを受けています。依頼書には「食料支援が必要である理由」を一言書いてもらうようになっているのですが、以前は「病気やケガで働けなくなった」「子供の進学でお金がかかった」「社会福祉協議会の貸付金が出るまでのつなぎ」というようなものが多くありました。しかし、最近ではほとんどコロナの影響で、仕事がなくなった、解雇された、子どもがずっと家にいるので生活費が足りなくなった……それらを見ていて、今、日本が本当に大変なことになっていることが、よくわかります。

上記のような事情の中、フードバンクへのニーズは急増していますが、幸い、ところざわ倶楽部の皆さんを始め、いろいろな方が食料の寄付を届けてくださり、また、ちょうどタイミングよく企業からのまとまった量の寄贈もあって、今のところ何とか対応することができています。しかし、全国のフードバンクの状況としては、企業からの寄贈量は急激に減少傾向となっています。コロナの影響で食材の輸入量が減少していたり、大手小売店や店舗の営業自粛の影響で加工食品の生産そのものも抑制されていると聞いています。コロナの影響が各所に及ぶ中、ボランティアベースのフー

ドバンクの活動がどこまで継続できるか心細い気持ちにもなりますが、その時その時でできる範囲のことをしていこうとスタッフ一同心を合わせています。

先日は、生活保護の申請をしたという高校生の子どもが二人いる40代のご夫婦から、涙ながらに「どうしてこんなことになったのだろうと心が沈んでいたが、フードバンクの食料とお手紙に、人の温かさを感じ、頑張っ乗り越えようという気持ちになれた。現状を乗り越え生活が安定したら、夫婦で活動を手伝いに行きますから」とお電話をいただき、私も思わずもらい泣きしてしまいました。辛い時、苦しい時に、食べ物と誰かのちょっとした優しさが届くことが、どれほどの励ましやなぐさめになるかということを、改めて深く感じ、食料の寄贈をくださる皆様の優しさを、心細い状態の方に食料と共にお届けするという「フードバンク」活動の意義を再認識しました。

子どもがいる世帯に向けて「緊急おやつ便」という取り組みをしました。詳細はフェイスブックのページをご覧ください。また、6月以降に、フードバンクの「マンスリーサポーター」を大々的に募集する予定もあります。500円の寄付を毎月継続的にしてくださる方の募集です。実施が近くなりましたら、またご案内させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

今後とも、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

編集後記

今回はコロナウイルス感染予防のため、変則的な5月号休刊と6月臨時号の発行ということになりましたが、7月号からはなんとか正常に戻したいと思って、編集メンバー一同頑張っております。皆様におかれましては、くれぐれも体調管理にご留意いただき、皆様と再会できることを楽しみにしております。

(玉上 記)